

(別紙4(2))

事業所名 グループホームたけのこ

作成日: 令和4年3月15日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	意向は把握しているが、介護計画に利用者や家族の意向の記入漏れがある。介護計画が利用者の意向を反映したものになっていない。利用者さんがたけのこでどう生活していきたいか、理解不足。(88番地、85番地共通)	利用者、家族の意向を取り入れた介護計画書を新たに作成する。 利用者さんの理解を深める。	スタッフ全員に用紙を配布し、利用者さん一人ひとりに思いを聴く時間を設ける。本人がより良く暮らすための課題、ケアのあり方について話し合い介護計画を作成する。 6ヶ月に一度、本人、家族に確認を行う。	2ヶ月
2	2	コロナで地域との交流、事業所の力を活かした取り組みがあまりできていない。	保育園、小学校などの地域をとおして、利用者とスタッフによる人形劇を発表し、認知症の理解を広める。	子供が楽しめる人形劇を考え、地域に発表の協力を得る。利用者と共に発表に向け練習、発表し、認知症の理解を広める。	6ヶ月
3	47	軟膏類の塗り忘れや、塗る場所、塗る薬などの共有不足。(85番地)	スタッフ全員が確実にできる。	軟膏ポーチに具体的に薬の種類や塗る場所を貼り、誰でも確認しやすいようにする。 塗り忘れ防止の為、居室保管にしてみる。	1ヶ月
4	26	職員間の情報共有ができていない。口頭のみで伝えている。(88番地)	職員間で情報の食い違いがないようにする。 情報を再確認できるようにする。	ノートをリビングに設置し確認と再確認ができるようにする。	1ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。